

研修会事務局からのお知らせ

- ① アンケート（出席確認）
- ② 今後の協議会・研修会予定
- ③ 拠点病院間連絡協議会・研修会について
- ④ 相談支援システム



①-a アンケート(9題+自由記載)回答のお願い

出席確認を兼ねていますので必ず返信(特にweb参加)をお願いします

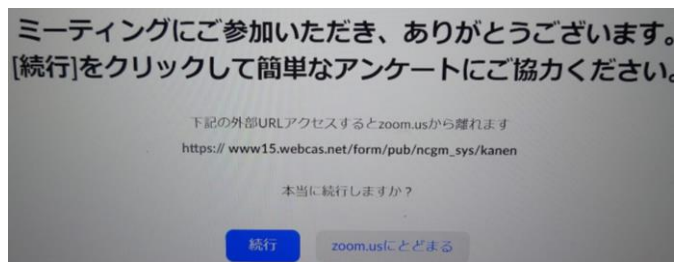
PWの聞き逃しに注意を現地参加者もお忘れなく!

① 下記のURLまたはQRコードを利用してスマートフォンからでも可能

https://www15.webcas.net/form/pub/ncgm_sys/kanen_202401



② Web参加者はzoom退出後
下記メッセージが表示
→続行ボタンから回答を



③ top画面とPW入力

令和5年度
第2回連絡協議会・協議会参加者向け研修会
アンケートのお願い

本日は令和5年度第2回都道府県肝疾患診療連携拠点病院連絡協議会・協議会参加者向け研修会ハイブリッド配信をご視聴いただきまして、誠に有難うございました。
お手数ですがアンケートへのご回答を宜しくお願い申し上げます。アンケート返信によって本会議の参加確認といたしますので、URL/QRコードより必ずご回答ください
(名前・mail addressは匿名化されます。アンケート回収担当事務局 kanen@japan9.comより非返信者を確認後、情報センターからリマインドさせていただくことがございます)。
会議中に講義ごとに発表したパスワード(英数字8文字)を必ずご入力ください(入力内容に間違いがあると登録できず、出席となりません)。

■パスワードを入力してください。

PW: 英数字8文字

次へ

変更点1: PW
これまで数字4文字でしたが、
会議中にPW入力する事象 数件有
(未視聴内容を回答……)

↓
会議後に回答を
英大文字数字のコンビを4か所表示

④ PWが正解なら個人情報画面
→質問に回答

■お名前を入力してください。

姓 是永 名 匡昭

■所属病院を選択してください。

00. 拠点病院以外

■職種を選択してください。

医師

■上記で選択された職種の年数を入力してください。

30 年
※1年以内の方は0を入力してから月を選択してください。

ヶ月目

■拠点病院(肝疾患相談支援センター)の役職をお聞かせください

どちらでもない

■視聴した実際の方法を選択してください。

現地

■会議後にDVDで再視聴希望されますか。

◎はい ○いいえ

■メールアドレスを入力してください。

dmkorenaga@hospk.ncgm.go.jp

確認のためもう一度入力してください。

dmkorenaga@hospk.ncgm.go.jp

①-b 12問選択式、発表者への質問は匿名で回答頂く + 最終画面(右)⇒Thanks mail(右)を確認ください

質問は12問+自由記載

2/12

2) 連絡協議会について率直なご感想を以下の中からお選び下さい。

2a. 会議全体について（1つ選択）

- ☒ 参考になった
- ☐ 参考にならなかった

発表に対するご質問・参考にならなかった理由をご記載ください。

↑ 講演者に質問がある場合、参考にならなかったと回答した場合は自由にご追記ください
(匿名で講演者に共有します)

変更点2 選択肢：
参考になった・少し参考になった・どちらともいえない
・参考にならなかった



シンプルに2択+参考にならない理由を

↓ アンケート最終画面

令和5年度
第2回連絡協議会・協議会参加者向け研修会
アンケートのお願い

尚、解析結果の一部は肝炎情報センターホームページ等で公表させていただきますし、今後の肝炎情報センター事業計画への参考資料にさせていただきますたく存じます。

K kanen@japan9.com
宛先: 是永 匡紹

←アンケート回収事務局アドレス
情報センターと異なります

次のテキストを使用して返信を開封

↓ 登録後にThanks mailが届きます

この度は、令和5年度第1回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会、協議会参加者向け研修会アンケートへのご回答ありがとうございました。
アンケートの内容につきましては分析を行いまして、今後の肝炎・免疫研究センター事業計画への参考資料にさせていただきます。
尚、解析結果の一部は肝炎情報センターホームページ等で公表させていただきます。予めご了承ください。

迷惑mail boxに分類?・mail アドレスの間違いは?
再回答する前に上記を確認+アンケート回収事務局に連絡を

①-c アンケート結果にて研修会が作られます

出席確認だけではありません

臨床部門で希望が多いテーマ (R5 第1回協議会&研修会后)

- ①アルコール44.6% 2022 高見先生
- ②NASH41.3% 2019 米田先生
- ③肝硬変29% 2021 吉治先生
- ④肝がん28.4%
- ⑤陽性率が高い地域対策25.8%
- ⑥ウイルス肝炎(BC)23.6%
- ⑥SVR後22.5%



国立研究開発法人国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター

主催 令和5年度第2回肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会参加者

(医師・事業/事務担当者向け) 研修会 Agenda *ハイブリッド開催

日時：令和6年1月26日(金) 14:45~16:15(最長 16:30)

場所：東京コンファレンスセンター・品川 402N (web: ZOOM meeting)

〒108-0075 東京都港区港南 1-9-36 アレア品川 4F TEL: 03-6717-7000

1. 「受刑者・薬物常用者に対するウイルス肝炎治療の現状と課題」(質疑応答 20分)

- ・法務省の対応について(2分) 法務省矯正局矯正医療管理官 鈴木章記
- ・矯正医療における肝炎対策(10分) 宮城刑務所医務部 新妻宏文
- ・4拠点病院の出所者に対する取り組み(5分) 埼玉医科大学 消化器・肝臓内科 助教 内田 義人

2. 令和5年度肝炎対策地域ブロック戦略合同会議の情報共有(約60分)

14時45分～開始です 1分前には御着席・視聴準備をお願いします

②-a 今後の肝炎情報センター主催会議予定

→schedule確保・参加者の選定と施設内共有

- 令和6年度肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会・協議会参加者向け研修会

⇒第1回2024年7月19日(金) (東京コンファレンスセンター品川)

Hybrid 開催 (再視聴希望⇒オンデマンド配信 登録後欠席者→DVD)

第1回研修会：政策研究班(八橋班・江口班)

- 令和6年度肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会・協議会参加者向け研修会

⇒第2回2025年1月24日(金)* (東京コンファレンスセンター品川)

大ホール5階移動 Hybrid 開催 (再視聴希望⇒オンデマンド配信 登録後欠席者→DVD)

第2回研修会：アンケート希望からテーマ1題＋令和6年度ブロック会議共有

- 令和5年度肝疾患相談・支援センター関係者向け研修会

⇒2024年3月2日(土) PM (場所：AP新橋 締切済み)

- 令和6年度肝炎対策地域ブロック戦略合同会議

⇒2024年9月26日(木)～10月28日(月)

②-b 今後の肝炎情報センター主催会議予定

→令和5年度肝疾患相談・支援センター関係者向け研修会(3/2)⇒会場開催のみ

日時：令和6年3月2日(土)13時より 4時間程度予定

R4～竹内上級研究員 発案/企画

会場：AP 新橋 テーマ：「相談支援システムの活用で情報収集とレベルアップ！！」講義とGW

	施設		申込人数	肝Co取得率
	総数	申込数		
北海道・東北	10	7(6)	09(15)	89%
関東信越	17	8(9)	18(18)	83%
東海北陸	11	8(10)	15(19)	87%
近畿	15	7(10)	9(14)	89%
中国四国	11	9(10)	18(26)	89%
九州	8	6(7)	10(16)	100%
合計	72	45(52)	79(108)	89% (90%)

46施設 82名

- ・来年度は100名越
- ・拠点病院肝Co研修会として全施設参加を(事業担当者は便宜を)

開催年度	会場	参加施設数	参加人数	肝Co取得率	拠点病院数/開催日数
2016	市川	56	113	35%	70施設 2日間
2017	浜松町	54	120	37%	70施設 2日間
2018	浜松町	54	109	58%	71施設 2日間
2019	COVID-19のため中止				
2020	Web(オンデマンド配信)	60	203	67%	71施設
2021	新橋(ハイブリッド)	50	136	71%	71施設 4時間
2022	新橋(ハイブリッド)	52	108	90%	72施設 4時間
2023	新橋(ハイブリッド)	45	79	89%	72施設 4時間

②-c 肝炎情報センター主催研修会予定

R6肝炎対策地域ブロック戦略合同会議→hybrid開催継続です！！

- 関東信越：9月26日 金曜日（宇都宮駅傍）自治医大 森本先生 ←10/25より変更
- 九州：10月4日 金曜日（博多駅内）久留米大 井出先生 ←配信業者決定済
- 近畿：10月10日 木曜日（大阪？）大阪医薬大 朝井先生
- 中国四国：10月15日 火曜日（松江駅傍）島根大 飛田先生 ←9/27より変更
+ 拠点・自治体事例報告者/配信業者決定済
- 東海北陸：10月21日 月曜日（名古屋？）愛知医大 伊藤先生
- 北海道・東北：10月28日 月曜日（秋田駅傍）秋田大 後藤先生
↑ 拠点・自治体事例報告者/配信業者 選定済み

来年度もハイブリッド開催⇒出来るだけ現地、難しいならLive参加を

注 青字は決定済 赤字はブロック会議より変更有

③-a 拠点病院間連絡協議会・研修会の今後について(参加状況)

コロナ前140名⇒オンデマンド200名⇒ハイブリッド190名 直前欠席者↓会場参加↑

	R1-1	R1-2	R2-1	R2-2	R3-1
現地参加人数	143	149			6
現地参加施設数	71	71			
LIVE					44
オンデマンド			218	204	137

	R3-1	R3-2	R4-1	R4-2	R5-1	R5-2
現地参加人数	6	10	30	42	80	98
現地参加施設数	4	9	25	34	57	63
総参加人数	197	167	184	189	187	191



	R3-1 hybrid ±期間限定配信	R3-2 hybrid+ 欠席者 DVD	R4-1 hybrid+ 欠席者 DVD	R4-1 hybrid+ 欠席者 DVD	R5-1 hybrid+ 欠席者 DVD	R5-2 hybrid+ 欠席者 DVD
申込数	215	203	205	205	194	197
参加数	187	167	184	189	187	191
欠席数	23	36	21	16	7	6
当日LIVE欠席数	12	23	12	2	0	?
当該週欠席希望	2	9	6	8	5	2
アンケート未返信	25	15	11	6	1	?
現地申込数	21	25	33	48	81	103*
現地参加数	6	10	29	42	79	97*
現地キャンセル数	15	15	4	6	2	1
DVD視聴	0	0	0	0	3	?
登録無視聴	12	5	4	1	0	?

- ・会場参加者: 5名お断り (3名登録施設:2 リマインド後複数名登録:3)
- ・アンケート未返信者・未登録web視聴は減少
- ・登録後欠席者のDVD視聴者はいない

③-b 拠点病院間連絡協議会・研修会の今後について(ブロック別)

R5年度から各施設から会場参加数↑⇒ 近畿ブロックはもう少し会場参加の検討を

R5 第2回	北海道・東北	関東信越	東海北陸	近畿	中国四国	九州	計
拠点病院数	10	17	11	15	11	8	72
総参加人数	30	39	24	36	39	23	191
現地参加人数	16	22	14	15	17	13	97
現地参加施設数	10	15	9	11	11	7	63
現地参加人数率	53%	56%	58%	42%	44%	57%	51%
現地施設参加率	100%	88%	82%	73%	100%	88%	88%

R5 第1回	北海道・東北	関東信越	東海北陸	近畿	中国四国	九州	計
拠点病院数	10	17	11	15	11	8	72
総参加数	30	37	25	36	38	21	187
現地参加人数	12	15	11	16	13	12	79
現地参加施設数	9	12	9	10	9	8	57
現地参加人数率	40%	41%	44%	44%	34%	57%	42%
現地施設参加率	90%	71%	82%	67%	82%	100%	79%

R4 第2回	北海道・東北	関東信越	東海北陸	近畿	中国四国	九州	計
拠点病院数	10	17	11	15	11	8	72
総参加数	30	43	21	34	38	23	189
現地参加人数	3	9	8	6	5	11	42
現地参加施設数	3	7	8	4	4	8	34
現地参加人数率	10%	21%	38%	18%	13%	48%	22%
現地施設参加率	30%	41%	73%	27%	36%	100%	47%

③-c 拠点病院間連絡協議会・研修会の今後について(会場参加)

連続して会場に参加しない施設・医師が会場に参加しない施設は再検討+早期の登録も

R5 第2回	北海道・東北	関東信越	東海北陸	近畿	中国四国	九州
会場参加無 9施設(R5-1/14) (赤字は連続)		獨協	金沢	関西		琉球
		山梨	砺波	兵庫		
				神戸		
				奈良		

R5 第2回	北海道・東北	関東信越	東海北陸	近畿	中国四国	九州
事業担当者(医師) 会場不在 (代理医師参加除) 5施設(R5-1/10)		武蔵野 赤十字		南和歌山 医療	岡山	
		信州		京都府立		

参加登録期間 11/10～11/30



締切 1週間前:57施設
⇒15施設にリマインド



前日:68施設
⇒4施設に電話
3施設が2名
会場参加希望

拠点病院間連絡協議会とは？ 参加対象（事業・事務担当者とは？）

③-d 拠点病院間連絡協議会・研修会の今後について(基本)

施設長の推薦(代理)者が参加⇒事業・事務担当者の施設内認知向上を

目的	都道府県肝疾患診療連携拠点病院の機能強化 や拠点病院間の連携強化について協議するため	(拠点病院間の連携・ 共有=均てん化)
構成	1.都道府県肝疾患診療連携拠点病院 病院長又は病院長が推薦する者 2.国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター長 3.国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター長	⇒施設長(院長・理事長) 代理です(所属部長推薦 許可ではありません)
内容	1.肝疾患情報の収集・提供に関すること 2.肝疾患診療等に係る人材育成に関すること 3.その他協議会の運営に必要な事項	別業務・上司の許可がなく参加不可X グループワーク X ⇒3月の研修会

出席対象

⇒事業担当者(医師or実務担当)・事務担当者(病院事務・相談センター事務担当)
拠点病院事業の代表(施設長代理)として登録⇒参加は病院業務⇒施設長に担当者を共有

お願い

- ⇒事業(医師)・事務担当者2名で会場参加が理想⇒2名まで交通費支給可能
- ⇒事業担当医師が参加できない場合は代理医師を
- ⇒事務担当者：出席者管理と共有 異動後は、速やかに肝炎情報C事務局に変更を

③-d 拠点病院間連絡協議会・研修会の今後について(基本)

施設長の推薦（代理）者が参加⇒事業・事務担当者の施設内認知向上を

①施設長への依頼状

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
肝炎・免疫研究センター
肝炎情報センター長 考藤 達哉

事務担当者・参加者は 病院長に提出されてますか？

国立研究開発法人国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター
令和5年度第1回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会・連絡協議会参加者（医
事業/事務担当者）向け研修会への御施設職員の会場派遣、Web(live)視聴の許可について

肝炎対策の推進につきましては、平素よりご指導、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当情報センター事業の一つである拠点病院間の情報共有支援のため、下記により
令和5年度第1回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会および連絡協議会参加者
向け研修会をハイブリッド（会場＋live 配信）にて開催することと致しました。
ご多用のところ誠に恐縮ですが、別紙の方々の会場への派遣、また live 視聴時間の確
保についてご高配賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

1. 日 時	令和5年7月21日（金） 拠点病院間連絡協議会 13:00～14:20 連絡協議会参加者向け研修会 14:30～15:30（最長16:00）
2. 場 所	東京コンファレンスセンター・品川 コンファレンスルーム 402N 〒108-0075 東京都港区港南 1-9-36 アレア品川 4F TEL: 0120-723-011 http://www.tokyo-cc.co.jp/access_shinagawa.html (+ Zoom meeting)
3. 内 容	別紙 01 Agenda 案参照
4. 出 席 者	別紙 02 参照
5. 旅 費	国立研究開発法人国立国際医療研究センターの旅費規程により支給 ※原則交通費のみ。宿泊に関しましては事務局までお問い合わせください
6. 謝 金	なし
7. 問い合わせ	国立国際医療研究センター肝炎・免疫研究センター肝炎情報センター (担当 是永・小山) 〒272-8516 千葉県市川市国府台 1-7-1 Tel: 047-372-3501 Fax: 047-375-4760

以 上

②事前に肝炎総合対策・拠点病院事業概略を動画化

③web化→事業・事務担当者以外の参加者が増加 →拠点病院事業・肝炎総合対策を理解して会議に参加

動画1

肝疾患診療連携拠点病院の役割とは
～新規関係者向け動画～
①肝炎対策～歴史・基本法/指針・推進・連携整備・研究～

動画2

肝疾患診療連携拠点病院の役割とは
～新規関係者向け動画～
②肝炎情報センター～情報発信・調査・肝ナビ～

動画3

肝疾患診療連携拠点病院の役割とは
～新規関係者向け動画～
③肝炎情報センターII～主催会議・相談支援システム～

30分の動画
協議会初回参加者に視聴義務
(簡単に代理出席は困難)
→新規担当・相談センター関係者
・肝Co取得後はすぐに視聴を検討

10

アンケートで施設長・事業担当者・事務担当者
それ以外 を回答して頂いています
(前回: 18名の事業担当者が施設長
担当者でない16名が事業担当者と回答)

③-e 拠点病院間連絡協議会・研修会の出席状況今後について 現会場収容数は100名迄⇒早期申込+原則2名(旅費有) or 会場変更



2018協議会&研修会
1スクリーン 縦長
会場開催



5階大ホール



2022市民公開講座

④-a 肝疾患患者相談支援システムとは？

2019年から全ての拠点病院使用（相談対応の充実は拠点病院の必須事業）

■ 政策、制度概要

平成29年度 第2回肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会 肝炎対策推進室「今後の肝炎総合対策」より改変

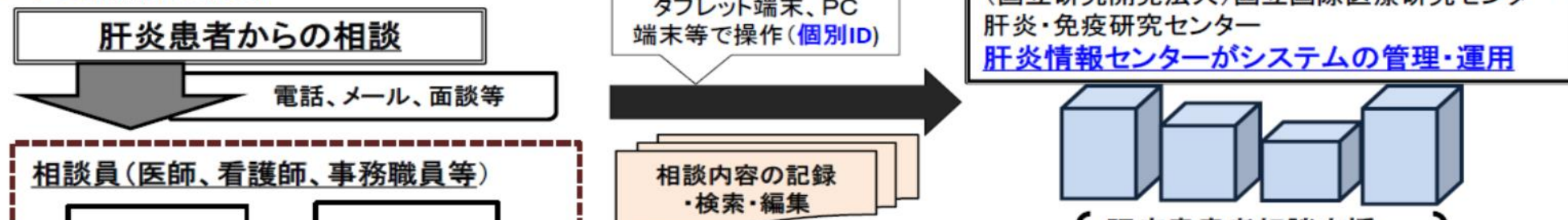
「肝炎対策基本指針」第4(2)シにおいて、「肝炎患者等への相談対応について、都道府県及び肝疾患診療連携拠点病院（以下「拠点病院」という。）は、地域の実情に応じて適切な体制を整備する。」とされており、様々な状況におかれた肝炎患者等の相談体制を充実させることが求められているところ。

このため、平成26年度から28年度まで厚生労働科学研究費補助金「肝疾患患者を対象とした相談支援システムの構築・運用・評価に関する研究（八橋班）」において、「肝疾患患者相談支援システム」を構築し、研究協力機関にて試験的運用をしてきたところ。運用の結果、当該システムの有用性が認められることから、全国の拠点病院に導入し、肝炎患者の相談支援に活用することとする。

■ 対象業務

本システムでは、拠点病院等における相談員等が、肝炎患者からの様々な相談内容を個人情報に十分に配慮して記録・検索・編集し、個々の事例に適した対応ができるよう、補助ツールとしての活用が期待され、全国的な相談員の質の均てん化により、肝炎患者の悩みの軽減や生活の質の向上へとつなげることができる。

■ 主な関係者と役割



病院内の相談内容を記載を・・・

- ・ 相談対応の充実は肝炎対策基本指針も基づく
- ・ 個人情報に十分に配慮（セキュリティ面は担保され運用開始・記載内容に配慮）
- ・ 肝疾患相談センター費用（国と都道府県＋一部情報C）＋システム運用費用（厚労省）

④-b 相談支援システム ユーザーとは 責任者or管理者は役目は極めて重要！！

- ・ システム責任者：ユーザー管理・記載内容確認 個人情報管理
- ・ システム管理者：責任者の代行・責任者へシステム情報共有
- ・ 一般ユーザー（記載可能・閲覧のみ）

⇒青字:6か月連続アクセス無でユーザー削除

+再登録可能：1か月以内にアクセス無or3ヶ月間連続アクセス無
⇒再削除（二度と登録不可）⇒数名おられます．．

- ・ システム責任者：ユーザー登録後一度もアクセス無(15⇒**5**)
⇒札幌 武蔵野 北里 大津 香川 (体制確認 ログインを)
- ・ 医師の責任者/管理者無(4⇒1)：順天静岡

④-c 相談支援システム ユーザーとは

ユーザー管理と変更方法⇒システム内から可能（責任者・管理者しかできません）


TOP

肝疾患患者相談支援システム

本日までの全国総登録件数： 73279 件 （自施設： 0 件）



【NEWS】  「質問箱」に投稿があります！ご意

ユーザー情報編集

システムに関するFAQ

マンスリーレポート 1/10

最近の活動報告まとめ (Excelデータ) 3/2

登録ユーザー変更申請

既存ユーザーの変更・削除

ユーザーID	変更区分	氏名	権限
ICE000	なし	考藤 達哉	相談支援システム責任者
ICE101	なし	是永 匡紹	相談支援システム管理者

新規ユーザーの登録

氏名	ニックネーム	権限	メールアドレス	パスワード	地方公共団体
		なし	ICE101		☐

ユーザー追加*

氏名	ニックネーム	権限	メールアドレス	パスワード	パスワード (確認)	地方公共団体
		なし	ICE101			☐

送信

申請を破棄する

肝疾患患者相談支援システム

是永 匡紹
ログアウト

ユーザー情報編集

ユーザー管理

ユーザー情報編集

ユーザーID

ICE101

氏名

是永 匡紹

ニックネーム

是永匡紹(システム管理者)

送信

近日中に
システム内に
マニュアル動画を
掲載予定

3月相談支援センター
向け研修会で

④-d 相談支援システム利用状況 マンスリーレポート

入力件数(月約 1000件⇒減少中) ・ ・ 減少傾向も配信時はmail有 ユーザー(340名)の半数は毎月閲覧

肝疾患患者相談支援システム

本日までの全国総登録件数： 66960 件 (自施設： 0 件)

ユーザー情報編集

システムに関するFAQ

マンスリーレポート 7/5

最近の活動報告まとめ
(Excelデータ) 3/2

新規活動報告はこちら

【NEWS】 「質問箱」 「活

2023/07/14 島根大学医学部附属病院：活動報告

2023/07/14 島根大学医学部附属病院：活動報告

○ R5 年度ログイン・相談登録・質問箱閲覧施設数（ユーザー登録 4 名 削除 3 名）

2023 (R5)年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	R5年度上半期平均(範囲)	R4年度上半期平均(範囲)
ログイン施設数	72	72	71	72	71	70	71.3(70~72)	68.3(66~71)
登録施設数	61	64	56	59	60	53	58.8(53~64)	56.5(52~59)
記載ユーザー数	94	103	79	81	82	76	85.8(76~103)	82.0(76~89)
質問箱・活動報告閲覧施設	68	69	68	71	70	67	69.2(68-71)	64.1(51-62)
上記閲覧ユーザー数	187	183	158	213	195	170	184(158~213)	148(128~171)
2023 (R5)年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R5年度下半期平均(範囲)	R4年度下半期平均(範囲)
ログイン施設数	71	71	70				70.6(70~71)	69.6(69~71)
登録施設数	58	52	58				56.0(52~58)	55.7(50~60)
記載ユーザー数	86	81	82				83.0(81~86)	79.8(71~88)
質問箱・活動報告閲覧施設	67	64	65				65.3(64~67)	64.8(61-67)
上記閲覧ユーザー数	187	173	181				180(173~187)	157.8(142~181)

○ R5 年度件数（令和 5 年 12 月 31 日まで）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期
2021年度(12月末時点入力数)	1191	1039	1295	1251	1171	1225	7172
2022年度(12月末時点入力数)	1080	1125	1181	1174	1112	1071	6743
2023年度(12月末時点入力数)	991	1041	1096	1024	945	849	5946
1~2か月遅れで記載数	159	166	217	305	181	189	1217
3か月以上遅れ記載数	18	33	43	66	28	6	194
上記で今月記載数	1	0	2	11	2	6	22
2021年度比(同時期)	-200	2	-199	-227	-226	-376	-1226
2022年度比(同時期)	-89	-84	-85	-150	-167	-222	-797
参考；2021年最終	1222	1071	1321	1272	1207	1257	7350
参考；2022年最終	1087	1136	1218	1237	1149	1121	6948
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期
2021年度(12月末時点入力数)	1078	1064	1012				3154
2022年度(12月末時点入力数)	1036	1040	810				2886
2023年度(12月末時点入力数)	996	995	791				2782
1~2か月遅れで記載数	153	175					
3か月以上遅れ記載数							
上記で今月記載数							
2021年度比	-82	-69	-221				-372
2022年度比	-40	-45	-19				-104
参考；2021年最終	1184	1212	1265	1063	1003	1250	6977
参考；2022年最終	1093	1109	1064	972	1061	1237	6536

④-e 相談支援システム利用状況 活動報告

相談内容登録に次いでアクセス数↑ ⇒16都道府県肝炎対策部署も閲覧



【NEWS】 「質問箱」「活動報告箱」に投稿があり

2023/07/14	島根大学医学部附属病院：活動報告
2023/07/14	島根大学医学部附属病院：活動報告
2023/07/14	香川大学医学部附属病院：令和5年度活動予定
2023/07/13	旭川医科大学病院：令和5年度活動予定
2023/07/13	浜松医科大学医学部附属病院：2023年度活動計画
2023/07/10	三重大学病院の為田です。短期滞在手術等基本料・・・
2023/07/10	順天堂大学医学部附属静岡病院：2023年度活動計画
2023/07/10	名古屋大学医学部附属病院：第一回肝臓病教室のWeb配信について
2023/07/10	北海道大学病院：2023年度 活動計画

システムに関するFAQ

マンスリーレポート 7/5

最近の活動報告まとめ
(Excelデータ) 3/2

新規活動報告はこちら

リンク集

肝炎情報センター

厚生労働省 関連サイト

各種ガイドライン

政策研究班ウェブサイト
(お役立ちサイト)

北海道・東北

北海道大学病院 新着
旭川医科大学病院 新着
札幌医科大学病院
弘前大学医学部附属病院
岩手医科大学附属病院
秋田大学医学部附属病院
市立秋田総合病院
東北大学病院
山形大学医学部附属病院
福島県立医科大学附属病院

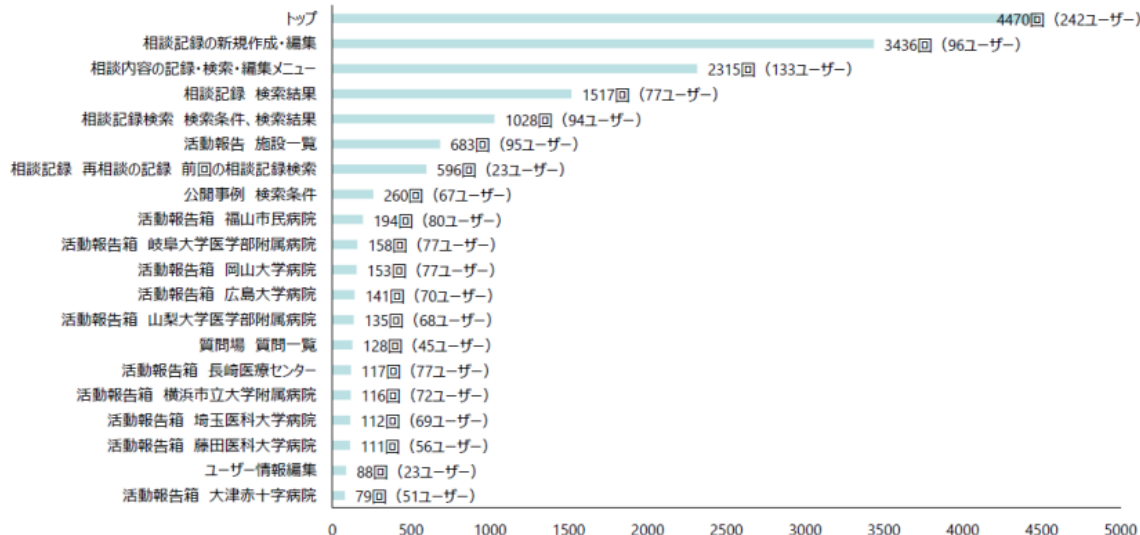
関東・甲信越

群馬大学医学部附属病院 新着
自治医科大学附属病院
獨協医科大学病院
日立総合病院
東京医科大学茨城医療センター
埼玉医科大学病院
千葉大学医学部附属病院
虎の門病院
武蔵野赤十字病院
横浜市立大学附属市民総合医療センター
聖マリアンナ医科大学病院
北里大学病院
東海大学医学部附属病院
横浜市立大学附属病院 新着
山梨大学医学部附属病院
信州大学医学部附属病院
新潟大学医学部総合病院

東海・北陸

順天堂大学医学部附属静岡病院 新着
浜松医科大学医学部附属病院 新着
名古屋大学医学部附属病院
名古屋市立大学病院 新着
藤田医科大学病院
愛知医科大学病院
岐阜大学医学部附属病院
三重大学医学部附属病院
富山県立中央病院
市立砺波総合病院
金沢大学附属病院

アクセス状況



R2年度 59施設
R3年度 44施設 (1施設はHP/FBのみ)
R4年度 56施設 (2施設はFB共有のみ 山口 琉球)
R5年度 61施設 (7施設はFB共有のみ 山口 琉球)
東北 横浜医 東海 兵庫医 佐賀

* 3年間 活動報告投稿無 6施設
市立秋田 京都 京都府立 滋賀医 近畿 琉球

④-f.相談支援システム利用状況：記載内容の公開

質問や回答を公開することで相談対応者の均てん化を目指す(202211よりデモ)

 TOP

肝疾患患者相談支援システム

是永 匡紹
ログアウト

✏️ 本日までの全国総登録件数： 73279 件 (自施設： 0 件)

 ユーザー情報編集

システムに関するFAQ

マンスリーレポート 1/10

最近の活動報告まとめ (Excelデータ) 3/2

新規活動報告はこちら



【NEWS】🌻 ご意見やコメントをお待ちしています。

2024/01/22 🌻 ～お気づきですか？～ 12月～ 差別偏見・肝...

2023/11/13 システム内でユーザー登録・変更・削除の申請が可能にな

 相談内容の記録・検索・編集

 公開事例 (1776件公開中)

 質問箱

 相談件数・動向の閲覧

肝疾患相談支援センター

**肝炎患者の理解を深める**
厚生労働行政推進調査事業費

**働く人の肝炎検査と治療ガイド**
厚生労働科学研究費

 TOP

 みんなの回答 検索

肝疾患患者相談支援システム

是永 匡紹
ログアウト

相談記録 みんなの回答 検索

検索画面

検索

相談内容の分類

☐ 病気自体に関して

☐ 病気の治療に関して

☐ 医療費助成制度に関して

☐ 肝炎ウイルス検査に関して

☐ 日常生活上の留意点に関して

☐ 医療機関に関して

☐ 病気の偏見・差別に関して

☐ 生活支援について

☐ 仕事・就労支援について

☐ 肝炎訴訟について

☐ その他

相談内容

助言・対応

女性 50代 B型肝炎 既往感染 病気自体に関して 肝炎ウイルス検査に関して 日常生活上の留意点に関して 感染心配 その他 日常生活の留意点

 以前、自身がB型肝炎キャリアと認識され、疾患や治療、助成制度やB型肝炎訴訟について相談に来室されている。その際、既往感染であり再活性化について説明しながら、B型肝炎訴訟（H B c抗体低値であり難しいと説明）についても助言していた。今回、既往感染だと判明したデータが1年前のものであったこと、それ以降に膠原病かもしれないと言われたため再活性化していないか不安になり来室された。

 膠原病かもしれないと医師から説明うけても、経過観察中であり、免疫抑制剤や抗癌剤治療を行っていないので再活性している可能性は低い旨をお伝えした。ただ、AST/ALT値が50-60程度であり、肝臓専門医を受診するよう勧め、次回他科受診の際に紹介してもらうこととした。また、脂肪肝予防として、食事内容の見直しや運動機会を作るよう助言した。

(2023年7月)

 参考になった

0

1700件以上蓄積！！
関係者で確認して公開
個人情報情報は削除

④-g.相談支援システム利用状況：今年度公開状況と報告書

12月末で53施設が公開（公開率8%）⇒全ての公開が目的ではなく、回答案を作り上げていく

● 公開率（2023 年度分）

	相談記録登録件数	公開許可件数	月間公開率
2023年4月	1171	123	10.5%
2023年5月	1157	114	9.9%
2023年6月	988	85	8.6%
2023年7月	836	69	8.3%
2023年8月	1036	59	5.7%
2023年9月	942	51	5.4%
2023年10月	997	62	6.2%
2023年11月	1122	102	9.1%
2023年12月	995	72	7.2%
	9244	737	8.0%

参考：相談登録件数が上位施設(200 件以上)の公開率

広島(1213)	22.3%	岡山(234)	2.1%
徳島大（434）	8.3%	香県中(306)	2.0%
茨城医 C(268)	4.1%	富山県中(1407)	1.5%
虎の門（669）	3.4%	札幌医(731)	1.2%
武蔵野（249）	3.2%	福山市(428)	1.2%
		山梨(292)	1.2%
		名市(466)	0%

3%以上を！！

肝疾患患者相談支援システム

相談内容の記録・検索・編集

相談記録

新規相談の記録再相談の記録

相談記録の検索・編集

相談記録のダウンロード

公開事例

公開許可された記録の管理10

公開された記録の管理

自施設で公開許可した記録の管理0

公開する回答事例候補

前のページへ戻る

審査中6修正依頼中再審査中4差し戻し

検索結果：6件

性別年代相談内容の分類肝疾患の原因肝疾患の病態その他分類相談対応者相談記録作成者施設名記録番号

④-h.相談支援システム利用状況：報告書内にも回答例を掲載 最終的に回答集作成ができれば・・・

肝疾患患者相談支援システム 2022 年度報告書



集計対象期間：2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日
施設数：72 拠点病院
総相談件数：13484 件

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター

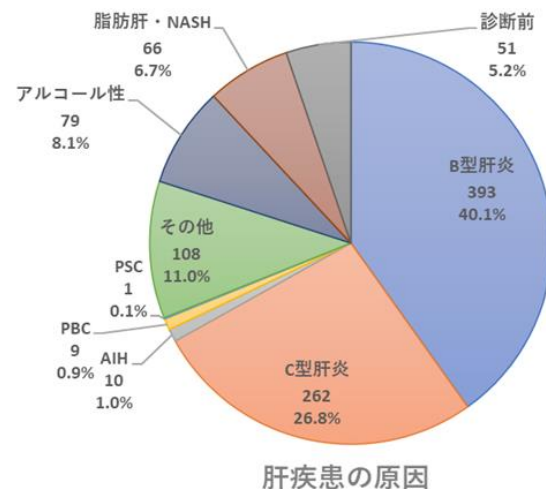
2023 年 11 月 15 日

2 相談支援システム導入後 4 年間の変遷 201

- 2.1 相談内容の分類 7
- 2.2 ブロック 8
- 2.3 相談形態 8
- 2.4 相談員属性 9
- 2.5 年齢 10
- 2.6 性別 10
- 2.7 肝疾患の原因 11
- 2.8 肝疾患の病態 12

3 基本情報と公開事例投稿について..... 13

- 3.1 登録ユーザー数 14
- 3.2 年度内ログイン状況推移 14
- 3.3 公開事例の投稿件数 14
- 3.4 公開事例の回答例 16



男性 70代 B型肝炎 既往感染 病気自体に関して -

☎ 糖尿病で通院中の地元の開業医でB型肝炎関連の検査を受けたHBs抗原陰性、HBs抗体陽性で抗体の数値が高く検査結果に「H」のマークがついている。HBc抗体も陽性、HBe抗原は陰性、HBe抗体は陽性、HBV核酸定量は検出せずである。抗体が陽性で「H」のマークが付いているのが心配なので相談したい。肝臓もかかりつけ医で定期的にみてもらっている。

HBs抗体陽性時に 伝えるべき内容

女性 80代 C型肝炎 慢性肝炎/キャリア 病気自体に関して 病気の治療に関して 医療費助成制度に関して 肝炎ウイルス検査に関して
日常生活上の留意点に関して 医療機関に関して 生活支援について その他 助成制度 医療費 資料情報

☎ C型肝炎でDAA治療をするため、肝炎助成申請の手続きについて教えてください。

HCV治療費助成申請時の 伝えるべき内容

☎ HBs抗体とHBc抗体が陽性であるのは、過去にB型肝炎ウイルスに感染があったという証拠と考えられる。現在HBs抗原陰性でHBV-DNAも検出せずなので持続している感染の状態ではなく、いわゆる既往感染の状態です。いま現在の肝臓の状態は定期的に検査を受けておられるということなのでそれは継続しておくのが安心です。またB型肝炎は、抗がん剤や免疫抑制剤の治療を受けられる場合に、再活性化を起こすことがあるので、ご自身が過去に感染していたということは覚えておいてください。そういった治療を受けられる際には担当医にそのことをお伝えしてください。

☎ 後期高齢者であったため、肝炎医療費助成申請の必要性を確認するために、当院担当部署に後期高齢者医療制度における高額療養費の限度額を問い合わせたところ、「該当患者さんは後期高齢者医療制度における所得区分が一般ではなく低所得Iであったため、高額療養費の限度額は8000円であり、C型肝炎に対するインターフェロンフリー治療の肝炎医療費助成の申請手続きは不要です」と返事をもらった。担当医に報告したところ、肝炎医療費助成の申請はせず、当日よりインターフェロンフリー治療を開始する方針となった。患者さんと家族さんに、診察室に移動していただき、マヴィレットを処方させていただいた。困ったこと・わからないことがあれば、電話をかけてくださいと、リーフレットをお渡しした。

男性 70代 B型肝炎 慢性肝炎/キャリア 医療費助成制度に関して 助成制度

☎ M医師より、肝がん重度肝硬変治療研究促進事業の説明依頼あり。M医師に聞くと今回はTACEであるが、今後はデセントリク+アバスチンを予定しているとのこと。2番窓口以案内したとのことであった。

肝がん助成時の 対応

☎ 患者ご本人と奥さんが外来前に来院され、大阪府のリーフレットを用い、制度を説明した。高額療養費で支払いした治療費が1万円となる医療費助成で、3回目の治療から助成が受けられる。患者さんの場合は、入院は57600円が高額療養費の限度額であり、1万円との差額47600円をはらわなくて済むようになる。外来だと18000円で、8000円払わなくて済むようになる。スタンプラリーと覚えてもらうのが、分かりやすく、患者さんの場合は、今回の入院で1回目であり、今はなにもする必要はなく、2回目の入院を予定されているのでその際に、助成制度の申請について、案内しますとお伝えした。

2022年12月

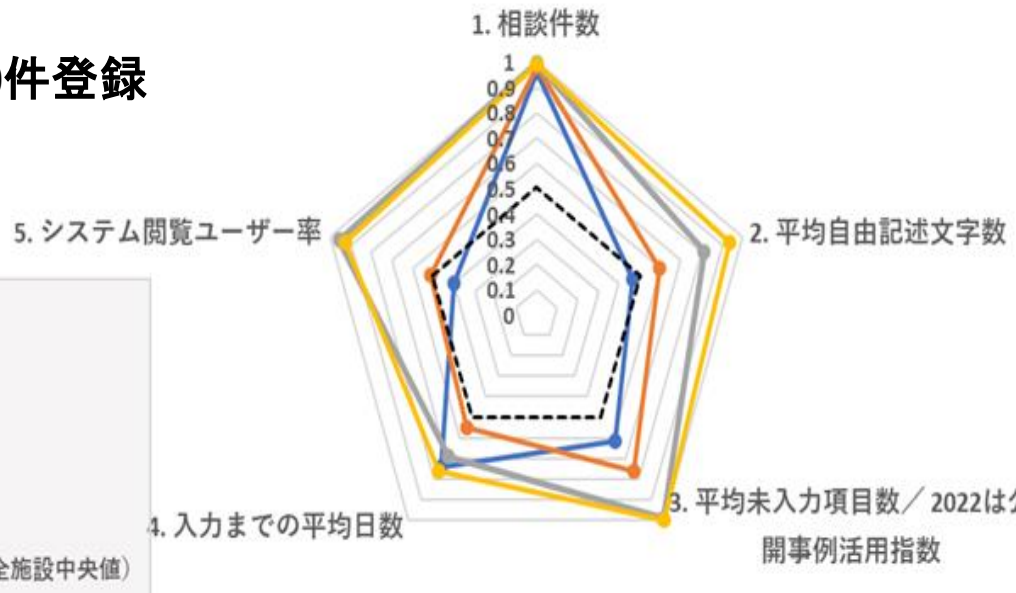
④-I.相談支援システム利用状況:活動指標

R4年度の解析結果を会場参加施設に配布しています⇒確認と改善を（年間25件未満は解析対象外）

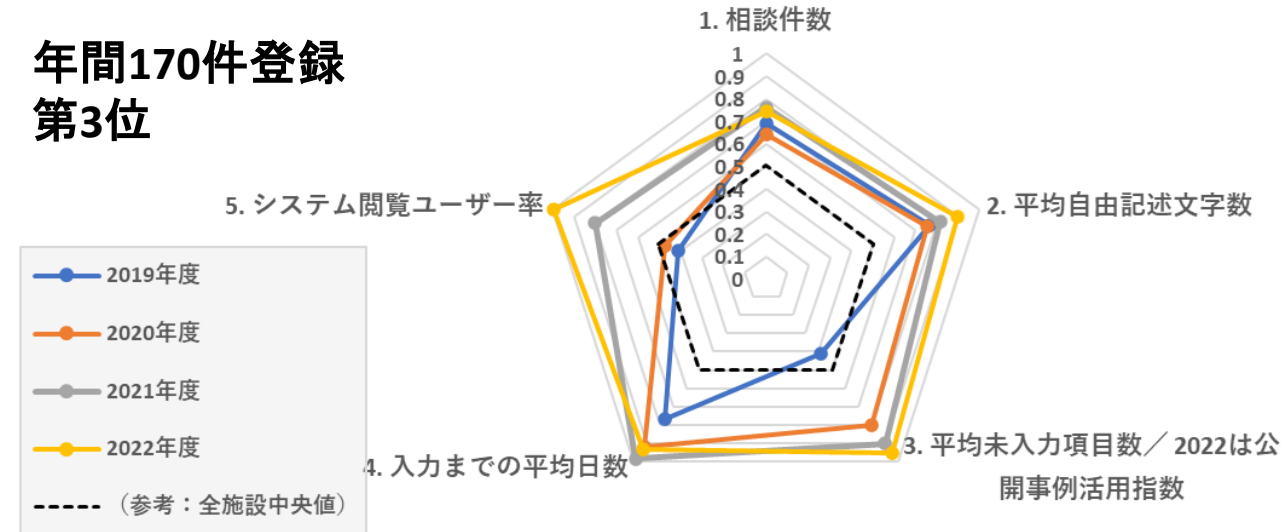
時期	1. 相談件数	2. 平均自由記述文字数	3. 平均未入力項目数／2022は公開事例活用指数	4. 入力までの平均日数	5. システム閲覧ユーザー率	1. 相談件数	2. 平均自由記述文字数	3. 平均未入力項目数／2022は公開事例活用指数	4. 入力までの平均日数	5. システム閲覧ユーザー率	総合順位/評価対象施設数
2019年度	899	113.5	0.6	3.0	21.7%	0.96	0.47	0.62	0.74	0.40	12/60
2020年度	1501	146.5	0.2	21.0	30.0%	0.98	0.59	0.76	0.55	0.51	19/57
2021年度	1889	239.5	0.0	5.7	77.2%	1.00	0.81	1.00	0.69	0.95	3/56
2022年度	1767	316.2	816	2.0	71.0%	0.99	0.93	1.00	0.76	0.92	1/51
(参考:全施設中央値)	80.5	155.1	0.31	12.2	36.3%	0.51	0.50	0.50	0.50	0.50	

時期	1. 相談件数	2. 平均自由記述文字数	3. 平均未入力項目数／2022は公開事例活用指数	4. 入力までの平均日数	5. システム閲覧ユーザー率	1. 相談件数	2. 平均自由記述文字数	3. 平均未入力項目数／2022は公開事例活用指数	4. 入力までの平均日数	5. システム閲覧ユーザー率	総合順位/評価対象施設数
2019年度	150	205.3	1.4	1.7	22.5%	0.69	0.76	0.41	0.77	0.41	14/60
2020年度	133	204.2	0.2	0.3	26.7%	0.64	0.76	0.80	0.92	0.48	12/57
2021年度	197	243.8	0.1	0.1	56.4%	0.76	0.82	0.90	0.99	0.80	6/56
2022年度	178	284.2	254	0.2	91.7%	0.74	0.90	0.96	0.93	0.99	3/51
(参考:全施設中央値)	80.5	155.1	0.31	12.2	36.3%	0.51	0.50	0.50	0.50	0.50	

年間1700件登録
第1位



年間170件登録
第3位



自由記載 公開欄・施設ユーザーの閲覧状況も指標の一つ

協議会開催日のschedule確保・終了後のアンケート 宜しくお願いします⇒14時45分から研修会です

● 令和6年度肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会・協議会参加者向け研修会

⇒**第1回2024年7月19日(金)** (東京コンファレンスセンター品川)

Hybrid 開催 (再視聴希望⇒オンデマンド配信 登録後欠席者→DVD)

第1回研修会：政策研究班(八橋班・江口班)

● 令和6年度肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会・協議会参加者向け研修会

⇒**第2回2025年1月24日(金)*** (東京コンファレンスセンター品川)

大ホール5階移動 Hybrid 開催 (再視聴希望⇒オンデマンド配信 登録後欠席者→DVD)

第2回研修会：アンケート希望からテーマ1題＋令和6年度ブロック会議共有

① 下記のURLまたはQRコードを
利用してスマートフォンからでも可能

https://www15.webcas.net/form/pub/ncgm_sys/kanen_202401



② Web参加者はzoom退出後
下記メッセージが表示
→続行ボタンから回答を



2番目のPWは・・・

1. 「受刑者・薬物常習者に対するウイルス肝炎治療の現状と課題」(質疑込 20分)
・ 法務省の対応について【発表資料】【参考資料(肝臓学会要旨書)】 (2分)
法務省矯正局矯正医療管理官 鈴木章記
・ 矯正医療における肝炎対策  (10分)
宮城刑務所医務部 新妻宏文
・ 4拠点病院の出所者に対する取り組み  (5分)
埼玉医科大学 消化器・肝臓内科 助教 内田 義人
2. 令和5年度肝炎対策地域ブロック戦略合同会議の情報共有 (約60分)
・ ブロック会議アンケート・情報共有について (5分)
肝炎情報センター 室長 是永 匡紹
・ 地方公共団体活動事例報告 (発表12分 質疑3分 X2)
静岡県健康福祉部 感染症対策局感染症対策課 主任 勝間田 光 
神奈川県健康医療局保健福祉部 がん・疾病対策課 疾病対策グループ 主査 鈴木 信之 
・ 総括&コメント
肝炎対策推進室 B型肝炎訴訟対策室 岡野 和薫
・ 令和5年度地区世話人より～開催と今後に向けて～ (2～3分/施設)
(発表順)
福島県立医科大学医学部消化器内科学講座 主任教授 大平 弘正
東海大学医学部内科学系消化器内臓域 主任教授 加川 建弘
浜松医科大学病院 肝臓内科学科長 川田 一仁
大阪大学内科学講座 消化器内科学 教授 竹原 徹郎
(代 同上 助教 田畑 優貴)
香川県立中央病院 院長 高口 浩一
宮崎大学医学部内科学講座消化器内科学分野 准教授 永田 賢治
3. 閉会 (最終/パスワード有)
肝炎情報センター センター長 考藤 達哉